

特別資料文庫から、吉田松陰を中心にした幕末の勤皇志士たちの事跡を、遺墨、遺品等から見る事ができる展示会です。

名 称：「吉田松陰とその同志」

会 期：平成 6 年 9 月 26 日(月)～10 月 28 日(金)

(日曜、祝日は除く)

午前 10 時～午後 5 時

場 所：附属図書館展示ホール (3 階)

講演会：「公武合体と尊皇攘夷運動」

講 師：佐々木克教授 (人文科学研究所)

日 時： 平成 6 年 10 月 14 日(金)

午後 3 時～4 時 30 分

会 場：附属図書館 AV ホール (3 階)

(雑誌・特殊資料掛)

電子版展示会の開催について

はじめに

「静脩」Vol.31、No.1 に掲載された、原田図書館情報大学教授の講演記録にもあるように、現在京都で開催されている ITU (国際電気通信連合) の総会にあわせて、電子図書館システム (以降は、愛称 Ariadne を使用) のデモンストレーションが、京都国際会館、けいはんなプラザ、そして京都大学を結んで行われています。京都大学附属図書館では、展示会「吉田松陰とその同志」の内容などを電子化して、Ariadne の一部として提供するとともに、附属図書館 4 階においてデモンストレーションを行っています。(9 月 26 日(月)～10 月 28 日(金)まで、土曜、日曜、祝日を除いて午前 10 時～午後 5 時)

1 Ariadne について

Ariadne は、電子図書館研究会 (代表者：工学部長尾教授) が研究・開発中のシステムで、画像、音声などを含んだハイパーテキストを検索できるソフトウェア、Mosaic をベースとしてその上にアプリケーションが構築されています。今回公開されているメニューには、「世界の図書館」「大学案内」「催物案内」等があり、書誌情報ばかりでなく、画像情報や全文データにもアクセスできます。サーバは、京都大学の工学部と附属図書館に、クライアントはサーバ設置場所以外に京都国際会館と、けいはんなプラザに置かれています。そして、これらサーバと

クライアントは、B-ISDN で結ばれ、大量情報の高速通信を実現しています。

電子版展示会は、メニューの中の「催物案内」を選択することによって、見るができます。

2 電子版展示会について

展示会「吉田松陰とその同志」の展示物は、京都大学附属図書館の所蔵する「維新特別資料文庫」の中の一部です。今回の電子化にあたっては、展示物だけではなく、同「文庫」中の巻物、軸物の大部分 (約 1000 点) を写真撮影しましたが、電子化した点数は 70 点程です。また未撮影の資料もまだ 1000 点程残っており、全体の電子化は今後の課題として残されています。

電子版展示会の内容は、各文献・資料の書誌情報、解説、人物解説、画像情報をハイパーテキスト化したものです。なお、インターネットを経由した海外からのアクセスも想定して、英文による解説等も入れております。画面上でリンクをたどって行くことによって、様々な順序で展示物を見ていくことが可能になりますので、自分の興味にあった展示会を仮想体験することができるといえましょう。また、画像情報は併設されているハイビジョンでも、より鮮明に見ることができます。(システム管理掛)

LSN (Library Service News) の創刊

この度、附属図書館のサービスを利用者の皆さんに紹介することを目的とした新しいニュースレター、LSN (Library Service News) を創刊しました。

7 月 14 日に No.1 を刊行しました。今後は月 1 回 1 日に発行予定です。1 F メインカウンターおよび 3 F 雑誌・特殊資料掛カウンターで配布しています。開館日程表とあわせてご覧ください。(参考調査掛)

地下書庫の OPAC 稼働開始

9 月 1 日より、地下 2 F の 2 カ所 (エレベーターホール前と、バックナンバーセンター入口) に設置しているパソコン端末 (各 1 台) で、OPAC/ILIS 目録検索が利用できるようになりました。これにより、地下書庫で所蔵巻号の範囲や配置先、請求記号等の再確認が、1 F までもどらなくても可能になります。なお、使用できる時間は、月曜から金曜までの午前 9 時 (開館) から午後 4 時 45 分までです。

(参考調査掛)